埼玉経済

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048・795・9161　FAX 048・653・9040
✉keizai@saitama-np.co.jp

県内有効求人0・93倍

1月 19カ月連続1倍割れ

埼玉労働局が4日発表した1月の県内有効求人倍率（季節調整値）は前月から横ばいの0・93倍だった。19カ月連続の1倍割れ。新型コロナウイルス下での景気の持ち直しを背景に求人数は増加も求職者数を下回る状況が続く。全国順位は44位だった。（小林哲伸）

有効求人数（同）は前月比0・9%増の9万929人で5カ月連続で前月を超えたものの、1・4%増の9万7834人で6カ月連続で上昇した有効求職者数を下回った。

新型コロナ感染拡大に伴う外出自粛で就職活動が長期化し、有効求職者数の増加が続く。職種や条件が合致しない人や在職中に新たな職を探す人材も多く、有効求職者数の増加は「雇用情勢の急激な悪化につながるとは考えていない」（同局）という。

雇用の先行指標とされる新規求人倍率（季節調整値）は0・10ポイント減の1・74倍。新規求人数（同）は2・8%減の3万945人、新規求職申込件数は2・5%増の1万776人だった。

新規求人数を産業別（原数値）でみると、「情報通信業」（前年同月比1・0%減）、「医療、福祉」（同8・2%減）以外の全業種で前年を上回った。最も伸びたのは「生活関連サービス業、娯楽業」の37・4%増で、美容師や理容師の求人が増えた。「製造業」は34・6%増。新型コロナの巣ごもり消費などを要因に小売業やファストフード向け製品が堅調な食料品製造業、建設工事が多い点などを背景に建築関連の金物の需要が高い金属製品製造業などが増加した。

同労働局は「雇用情勢は持ち直しの動きがみられるも、求職者が高水準にある。新型コロナの感染状況が雇用に与える影響により注意する必要がある」とした。

有効求人倍率　ハローワークで仕事を探す人1人に対し、企業の求人が幾つあるのかを示す。1倍を超すと求人が求職者よりも多い状態を意味し、倍率が高いほど職を得やすい状況となる。高度経済成長期後半の1973年11月の1・93倍が過去最高。リーマン・ショック後の2009年8月には0・42倍まで落ち込んだ。その後は人手不足を背景に上昇。新型コロナウイルス禍で低下したものの、全国では1倍を切ることなく推移している。

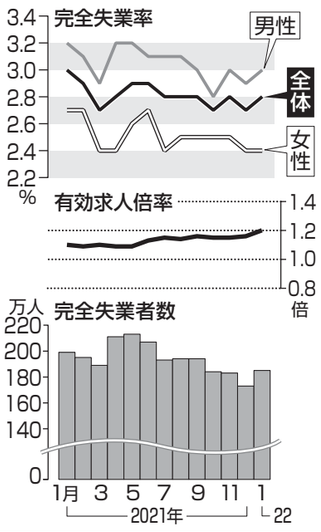
埼玉以外の関東6都県の有効求人倍率は、茨城県＝1・38倍▽栃木県＝1・09倍▽群馬県＝1・38倍▽千葉県＝0・85倍▽東京都＝1・26倍▽神奈川県＝0・77倍。関東の3県以外で1倍を下回ったのは、滋賀県、兵庫県、沖縄県だった。

同日発表した2021年10～12月期の県内の完全失業率（原数値）は前年同期比0・1ポイント減の2・9%だった。微減の要因について同局は「新型コロナの影響から景況感が持ち直し始め、もともと人手確保に苦慮していた飲食業など一部で営業再開を機に求人を始めた点などが要因ではないか」とみている。

1月の失業率2.8%

コロナ拡大2カ月ぶり悪化

総務省が4日発表した1月の完全失業率（季節調整値）は、前月比0・1ポイント上昇の2・8%で、2カ月ぶりに悪化した。中旬以降に新型コロナウイルスのオミクロン株の感染が広がり、卸売・小売業や教育・学習支援業などで働く人が減ったため。厚生労働省が同日発表した有効求人倍率（同）は、前月比0・03ポイント上昇の1・20倍で、2カ月ぶりに改善した。



完全失業者数は、前年同月比14万人減の185万人で、男性110万人に対し女性75万人だった。一時的に仕事を休む休業者数も249万人と4カ月ぶりに200万人を超え、デルタ株が猛威を振るっていた昨年8月（250万人）以来の水準となった。男女別の完全失業率は、前月に比べ男性が0・1ポイント上昇の3・0%、女性が横ばいの2・4%だった。

完全失業率　働く意思と能力がある15歳以上の総数を指す「労働力人口」のうち、仕事がなく、見つかればすぐ働くことができる人の割合。失業中でも、仕事を探していない人は含まれない。数値が高いほど職を求める人が多い。リーマン・ショック後の2009年7月に5・5%まで悪化したが、その後は2%台に改善。新型コロナウイルスの影響で再び悪化し、現在は横ばい傾向が続いている。

総務省の担当者は「雇用情勢が急激に悪くなったわけではないが、2月以降はさらにコロナの影響が表れる可能性がある」と分析している。

有効求人倍率は求職者1人当たりの求人数を表し、数値が高いほど職を得やすい。今回、人手不足が続く製造業や情報通信業を中心に求人数が大幅に増え、求職者数の伸びを上回った。1・20倍を超えたのは、初めて新型コロナの緊急事態宣言が発令された2020年4月の1・31倍以来、1年9カ月ぶりとなる。

都道府県別では、最も高い福井で1・83倍。最も低いのは、20年2月以来となる神奈川の0・77倍だった。他に1倍を下回ったのは、埼玉、千葉、滋賀、兵庫、沖縄。

作業服事業にミズノが注力

部活動人口減に危機感

ミズノが企業向けの作業服や用具販売に力を入れている。スポーツウエアの開発で培った知見を生かして速乾性や動きやすさを追求、物流や建設現場などで採用数を増やしている。背景には少子化に伴う学校での部活動人口減少への危機感がある。ラインアップを拡充し、収益源に育てたい考えだ。

ミズノの作業靴用プロテクター

これまでに佐川急便やサカイ引越センターなど700社以上に納入した。2月発売の作業靴用プロテクターは、野球用防具にヒントを得た。足の甲の部分に装着して落下物などから守る。野球用ヘルメットと同じ樹脂を採用し、軽量化しつつ衝撃への耐性を確保した。

ミズノは野球用具などを得意とするが、日本高野連に所属する硬式の部員数が2011年度に約16万人だったのに対し、21年度には約13万人に減少した。それに対して企業向け作業服の市場は建設需要の増大などで一定の成長が見込まれる。

ミズノは1997年に企業向け作業服の専門部門を設置したが、19年に「ワークビジネス事業部」に昇格。20年度に約69億円だった売上高を、23年度に150億円に拡大する計画だ。

米CPIに注目

むさしの眼　週刊株式展望

来週（7～11日）の日経平均（225種）は神経質な展開を想定する。

今週の日経平均は下落。週初は侵攻したロシアとウクライナとが停戦交渉を継続との報道から反発を強め、一時2万7千円を回復した。しかし週末はロシア軍がウクライナの原子力発電所を攻撃し火災が発生したと報じられリスク回避の売りから急落となり、週間では1・9%の下落となった。

来週は10日に2月の米消費者物価指数（CPI）が発表される。1月のCPIは前年同月比7・5%上昇し、伸び率は1982年2月以来、約40年ぶりの大きさとなった。ウクライナ情勢を巡る思惑から原油価格が大幅に上昇しており、CPIの落ち着きは当面見込めそうもない。3月の利上げは小幅との見方が強いだけに、次回以降の利上げペースを予想するうえでCPIに注目する。

引き続き日本株はウクライナ情勢に左右される不安定な相場となりそうだ。だ、これまでの株価下落でリスクの織り込みも相当進んだとみる。停戦合意見通しともなれば、株価急反発の場面も十分ありうる。来週の日経平均は神経質な展開となるだろう。

（むさし証券ストラテジスト・齋藤健治）

城西大学発　研究の現場から ■22■

ナノカーボン応用の鍵 フラーレン

鈴木 光明　理学部化学科 助教

「ナノカーボン」という言葉をご存知だろうか。「ナノ」というのは数字の桁を表しており、10のマイナス9乗（10億分の1）を意味する。カーボンは炭素のことであるから、「ナノカーボン」は炭素原子から構成される、とても小さい物質群である。ナノカーボンという言葉が広く使われるようになったきっかけは、1996年のノーベル化学賞の対象となった炭素の同素体「フラーレン」の発見である。60個の炭素原子がサッカーボール型に結合したフラーレンC60の直径は約1ナノメートルである。最近の高校の化学の教科書では、炭素の同素体として、フラーレンと共に、「カーボンナノチューブ」と「グラフェン」も登場している。これらもナノカーボンに分類される。

同素体とは同じ元素のみからなる物質のことで、炭素の同素体として、「ダイヤモンド」と「グラファイト（黒鉛）」が有名である。ダイヤモンドは硬く、電気を通さない一方で、グラファイトは柔らかく、電気を流すという性質を示す。どちらも炭素原子から構成されるのに、どうしてこれほどまでに性質が変わるのだろうか？　この違いは炭素原子同士のつながり方に秘密がある。ダイヤモンドは、炭素原子が他の四つの炭素原子とジャングルジムのように3次元的に結合することで剛直な構造となる。一方、グラファイトは、炭素原子が他の三つの炭素原子と2次元的に結合した「グラフェンシート」を形成し、これが何枚も重なった層状構造になっている。同じ炭素原子からなる物質でも、つながり方の違いで大きく性質が異なっている。

ナノカーボンである「フラーレン」と「カーボンナノチューブ」と「グラフェン」を構成する炭素原子は、グラファイトと同様に、他の三つの炭素原子と結合しているが、これらナノカーボンは立体的な構造が異なり、性質も異なる。ここで紹介したナノカーボンは、それらの半導体性に注目が集まっており、それを利用した太陽電池と有機ELなどの原料として利用されている。

筆者は単結晶X線構造解析を利用して、フラーレンや金属内包フラーレンの分子および結晶構造を明らかにしてきた。最近は薬成分の結晶構造と溶解度等の関連性を研究している。物質の性質を理解するためには、分子の構造や固体状態で配列を理解することは重要である。

すずき・みつあき　1985年生まれ。2013年筑波大学大学院数理物質科学研究科博士後期課程化学専修了。博士（理学）。13年国際科学新興財団研究員、14年東京学芸大学研究員、特任講師を経て、16年城西大学理学部化学科助教（現職）に至る。専門は構造有機化学、有機結晶。

私募債発行

◆**建設業、斎藤工業**（さいたま市浦和区、斎藤恵介社長）　2021年12月28日付で、同年が150周年の埼玉県が寄付先の「埼玉りそなSDGs私募債～埼玉150周年記念ファンド～」を1億円発行した。期間は3年。財務代理人は埼玉りそな銀行。調達資金は運転資金に充てる。1924年創業。2024年には創業100周年を迎える。技術力の定評が高く、県内で数多くの主要建築物の工事施工実績があり、受注先は多岐にわたる。

◆**食材販売、給食受託、食堂経営コンサルティング業、アミス**（川越市、加藤欽彦社長）　2021年12月30日付で、同年が150周年の埼玉県が寄付先の「埼玉りそなSDGs私募債～埼玉150周年記念ファンド～」を1億円発行した。期間は3年。財務代理人は埼玉りそな銀行。調達資金は運転資金に充てる。病院や介護施設への配給や調理師派遣を行う。調理師や栄養士が多数在籍。顧客ニーズに合わせて食事の提供を行う。

◆**総合建設業、大尚**（蕨市、福留昭彦社長）　2021年12月27日付でSDGsの実現を後押しすることを目的とした寄付付SDGs推進私募債1億5千万円を発行した。寄付先は公益財団法人日本ユニセフ協会。期間は3年。財務代理人は埼玉りそな銀行。同行と埼玉県信用保証協会の共同保証付。調達資金は運転資金に充てる。型枠工事に強みを持ち、建設工事一式を請け負う総合建設業者。豊富な技術力と経験で、大手ゼネコンや下請け業者などからの信頼は厚い。

TOKYO MARKET REPORT

●株　式

◆**東証急落、591円安　ウクライナ原発砲撃で**　4日の東京株式市場の日経平均株価（225種）は急落し、終値は前日比591円80銭安の2万5985円47銭と約1週間ぶりの安値を付けた。ロシア軍がウクライナ南部にある欧州最大級のザポロジエ原発を砲撃し、戦闘の激化に警戒が広がった。欧州の景気減速につながるとも懸念された。一時は800円余り下げ約1年3カ月ぶりの安値を付けた。

東証株価指数（TOPIX）は36.86ポイント安の1844.94。出来高は約15億2900万株。

原発砲撃で停戦は遠のき日米欧による対ロシア経済制裁が長期化、世界の物流や金融の混乱が続くと悲観的な見方が市場に広がった。一時は放射能漏れを危ぶむ声も聞かれたが、原発周辺の放射線量に変化はないと伝わり、平均株価の下げ幅はやや縮小した。

ロシアからの事業撤退が欧米企業を中心に加速。原油や農産物の先物価格は高値圏で推移している。

●外　為

◆**ユーロ急落一時126円台　東京、ドルは115円半ば**　4日の東京外国為替市場の円相場は、ロシア軍のウクライナ原発砲撃によりユーロが急落し、一時は1ユーロ＝126円台後半と昨年2月以来、約1年1カ月ぶりの安値を付けた。ドルは1ドル＝115円台半ばで取引された。

午後5時現在、ドルは前日比27銭円高ドル安の1ドル＝115円45～46銭。ユーロは1円28銭円高ユーロ安の1ユーロ＝127円14～18銭。

原発砲撃によりウクライナとロシアの戦闘が激化し、欧州経済に悪影響が及ぶと受け止められ、ユーロに売りが集中した。比較的安全な通貨とされる円は買われやすかった。

市場では「原発砲撃は一時、放射性物質の拡散といった最悪の事態も連想され、パニックのようにユーロが売られた。予断を許さない状況が続いた」（外為ブローカー）との声があった。

東京市場（4日）

◆**円相場**（午後5時）銀行間
対ドル　115.45－115.46円（0.27円高）
対ユーロ　127.14－127.18円（1.28円高）

◆**株式**（終値）
日経平均　2万5985.47円（591.80円安）
TOPIX　1844.94（36.86ポイント安）

◆**長期金利**（新発10年国債）　0.150%（－0.015）

◆**短期金利**（無担保コール翌日物）　－0.009%

◆**金貨売買相場**◆

	出来値	前日比
メイプル（1オンス）		
小売価格	262594円	△1416
買取価格	238929円	△1305
ウイーン（1／10オンス）		
小売価格	28344円	△153
買取価格	23718円	△130

生花（㈱埼玉園芸市場調べ）

	高値	中値
白大菊	115	80
黄大菊	93	75
スプレイ菊	88	60
小菊	65	50
赤カーネーション	100	60
ピンクカーネーション	75	55
スプレイカーネーション	80	65
赤バラ	230	150
ピンクバラ	180	120
白バラ	180	130
スプレイバラ	250	150
テッポウユリ	130	100
スカシユリ	110	75
オリエンタル系ユリ	550	220
カトレア	500	350
デンファレ	65	50
シンビジューム	450	400
トルコ桔梗	350	100
サンダーソニア	—	—
グラジオラス	—	—
カラー	100	85
アルストロ	170	120
スターチス	120	85
スターチスHB	160	130
ガーベラ	100	70
デルフィニウム	130	110
グロリオサ	170	—
宿根カスミソウ	300	250
ソリダコ・ソリダスター	50	45

鶏卵（1キロ＝円）

		高値	安値
【全農】			
	LL	204	178
	L	210	184
	M	210	184
もちあい	MS	205	179
	S	189	163
	SS	159	133
【入間】		270	
【東洋】		高値	安値
	LL	204	177
	L	209	181
	M	209	181
もちあい	MS	206	178
	S	189	163
	SS	158	132
	特殊	215	69

枝肉【東京】（1キロ＝円）もちあい

和牛	メス	去勢	交雑種	メス	去勢
A5	2639	A5 2699	A5 —	A5	1875
A4	2391	A4 2380	A4 —	A4	—
A3	—	A3 2156	A3 1394	A3	1504
A2	—	A2 2016	A2 —	A2	1383
A1	—	A1 —	A1 —	A1	—
B5	2485	B5 —	B5 —	B5	—
B4	—	B4 2007	B4 1715	B4	1561
B3	—	B3 2053	B3 1444	B3	1471
B2	—	B2 —	B2 1258	B2	1405
B1	—	B1 —	B1 —	B1	—

豚		高値	安値	加重平均
極上		593	486	548
上		648	486	521
中		648	464	501
並		532	360	466
等外		478	302	383
		牛	豚	
上場頭数		282頭	887頭	

【さいたま】（単位キロ当たり）反発

豚		高値	安値	加重平均
極上		—	—	—
上		541	495	507
中		532	471	491
並		496	378	455
等外		399	399	399
牛				
馬				

	豚	牛	馬
上場頭数	180	—	—
処理頭数		—	—
預り頭数		—	—

【川口】受信なし

豚		高値	安値	加重平均	処理頭数
極上		—	—	—	—
上		—	—	—	—
中		—	—	—	—
並		—	—	—	—
等外		—	—	—	—
上場		—	処理		—

商況

東京市況（大田／東一調べ）＝単位：円

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	1512	1296
ニンジン(千・10キロ)	1404	1188
ゴボウ(青・4キロ)	—	2376
レンコン(茨・4キロ)	3564	3240
ハクサイ(茨・15キロ)	886	886
キャベツ(愛知・10キロ)	2160	1620
ホウレン草(群・0.2キロ)	130	108
ネギ(千・5キロ)	—	2700
セロリ(静・10キロ)	3564	3240
ブロッコリー(愛知・8キロ)	2722	2160
レタス(兵庫・10キロ)	3780	—
キュウリ(千・5キロ)	2160	1620
ナス(高・5キロ)	2916	2484
トマト(熊本・4キロ)	1728	—
ピーマン(宮崎・0.13キロ)	108	97
サヤエンドウ(愛知・1キロ)	—	1944
サツマイモ(千・5キロ)	2160	1620
ジャガイモ(北・10キロ)	2808	2592
サトイモ(埼・10キロ)	5400	4860
タマネギ(北・20キロ)	5940	4536
生シイタケ(岩・0.1キロ)	119	—
エノキタケ(長野・0.1キロ)	59	32
カブ(千・1キロ)	173	151
ミズナ(茨・0.2キロ)	108	54
コマツナ(埼・0.5キロ)	216	108
小ネギ(福岡・0.1キロ)	130	76
シュンギク(千・3キロ)	2376	1728
ニラ(栃・0.1キロ)	108	86
アスパラ(メキシコ・0.1キロ)	97	43
チンゲンサイ(茨・2キロ)	972	648
ミニトマト(熊本・3キロ)	2268	1836
ナガイモ(青・10キロ)	3024	—
ニンニク(青・1キロ)	1944	1728
根ショウガ(高・4キロ)	—	3672
シメジ(長野・0.1キロ)	65	38
マイタケ(新潟・0.1キロ)	140	43

◇果物◇	高値	中値
ミカン(静・10キロ)	5940	5184
(徳・10キロ)	—	—
(香・5キロ)	—	—
ネーブル(媛・5キロ)	—	—
甘夏カン(媛・10キロ)	—	—
伊予カン(媛・10キロ)	—	—
ハッサク(広・10キロ)	—	—
デコポン(媛・5キロ)	3564	—
セトカ(媛・5キロ)	4104	—
清見(媛・10キロ)	—	—
キンカン(宮崎・3キロ)	2700	—
リンゴ(青・10キロジョナG)	—	—
(青・10キロふじ)	7560	—
(青・10キロ王林)	—	—
(青・10キロシナゴールド)	5400	—
ビワ(長崎・0.5キロ)	—	—
イチゴ(栃・0.26キロとちおとめ)	378	346
(福岡・0.27キロあまおう)	454	—
(静・0.28キロ紅ほっぺ)	410	—
(群・0.28キロやよいひめ)	—	—
(佐・0.24キロいちごさん)	356	—
メロン(千・1キロアールス)	1620	1296
(静・1キロアールス)	7560	1944
(熊・5キロアンデス)	—	—
スイカ(熊・15キロ大玉)	—	—
マンゴー(宮崎・0.4キロ)	—	—
キウイ(媛・3.6キロ)	—	—

川口青果市場つま物市況（川口中央青果市場調べ）

	高値	中値
キノメ（埼・1箱）	1080	756
ぼうふう（埼・1束）	—	—
アサツキ（埼・1箱）	—	—
わけねぎ（埼・30束）	3240	2160
むきギンナン（埼・1箱）	—	—
メカブ（埼・1箱）	—	—

浦和市況（浦和中央青果／巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ピーマン(茨・4キロ)	—	3240
トマト(熊・4キロ)	—	1188
ネギ(埼・5キロ)	—	2268
ナス(高・5キロ)	—	2484
キャベツ(愛知・10キロ)	—	1620
タマネギ(北・20キロ)	—	5400
パレイショ(北・10キロ)	—	2700
カブ(千・1キロ)	—	194
ニンジン(埼・10キロ)	—	1080
レタス(茨・10キロ)	4320	—
ホウレン草(埼・0.3キロ)	108	86
ニラ(茨・0.1キロ)	86	—
コマツナ(埼・0.2キロ)	86	76
チンゲンサイ(茨・2キロ)	756	—
カンショ(茨・5キロ)	1728	—
生シイタケ(島・0.1キロ)	162	130
エノキタケ(新潟・0.2キロ)	65	54
シメジ(長野・0.1キロ)	76	—
キュウリ(埼・5キロ)	—	2052
ハクサイ(茨・15キロ)	1080	—
◇果実◇		
リンゴ(青・10キロサンふじ)	—	4320
伊予カン(媛・10キロ)	2484	—
メロン(熊・5キロアンデス)	—	—
パナナ(フィリピン・13キロ)	3672	—

熊谷市況（熊谷青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	—	1296
ニンジン(埼・10キロ)	—	—
ゴボウ(青・4キロ)	1080	—
ハクサイ(埼・13キロ)	1296	1080
ミズナ(埼・0.2キロ)	—	76
キャベツ(神・10キロ)	1944	1620
ホウレン草(埼・0.25キロ)	140	—
ネギ(埼・5キロ)	—	2700
ニラ(栃・0.1キロ)	—	97
ブロッコリー(埼・5キロ)	—	1296
レタス(茨・10キロ)	3456	3240
キュウリ(埼・5キロ)	2592	1944
ナス(高・0.4キロ)	205	—
トマト(埼・4キロ)	—	1404
ピーマン(宮崎・0.13キロ)	—	108
カンショ(茨・5キロ)	1944	1728
パレイショ(北・10キロ)	—	2700
タマネギ(北・20キロ)	—	5184
生シイタケ(各地・0.1キロ)	162	151
エノキタケ(各地・0.2キロ)	76	70
◇果実◇		
甘夏カン(熊・10キロ)	—	2484
リンゴ(青・10キロふじ)	—	5400
イチゴ(栃・0.25キロとちおとめ)	—	432
パナナ(フィリピン・13キロ)	—	3024

上尾市況（埼玉中央青果／巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	1512	—
ニンジン(埼・10キロ)	1620	—
ゴボウ(青・4キロ)	1080	—
ネギ(埼・5キロ)	3240	—
ニラ(栃・0.1キロ)	97	—
キュウリ(埼・5キロ)	2700	—
ナス(高・5キロ)	2700	—
トマト(埼・4キロ)	1620	—
ピーマン(茨・0.15キロ)	130	—
カンショ(茨・5キロ)	2376	—
ヤマトイモ(千・4キロ)	2916	2484
パレイショ(北・10キロ)	3888	2484
タマネギ(北・20キロ)	5616	4860
生シイタケ(埼・0.1キロ)	140	—
エノキタケ(長野・0.1キロ)	54	—
レタス(茨・10キロ)	3780	—
コマツナ(埼・0.3キロ)	—	—
ホウレン草(群・0.3キロ)	—	—
ハクサイ(茨・13キロ)	1080	—
ミズナ(茨・0.2キロ)	—	—
◇果実◇		
メロン(静・8キロアールス)	—	—
リンゴ(青・10キロふじ)	—	—
バナナ(フィリピン・12キロ)	—	—
グレープF(アメリカ・17キロ)	—	—

大宮市況（大宮中央青果／巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	—	1404
カブ(埼・1キロ)	—	140
レンコン(茨・4キロ)	—	3240
ハクサイ(群・13キロ)	—	1080
コマツナ(埼・0.2キロ)	—	108
キャベツ(愛知・10キロ)	—	1944
ホウレン草(群・0.2キロ)	—	140
ネギ(埼・5キロ)	—	2700
ニラ(茨・4キロ)	—	3240
チンゲンサイ(群・3キロ)	—	864
キュウリ(千・5キロ)	—	1944
トマト(栃・4キロ)	—	—
ピーマン(茨・4キロ)	—	3348
パレイショ(鹿・10キロ)	—	—
タマネギ(北・20キロ)	—	5616
生シイタケ(秋・0.1キロ)	167	—
ナメコ(形・0.1キロ)	—	65
エノキタケ(長野・0.2キロ)	—	65
シメジ(長野・0.1キロ)	—	49
マイタケ(新潟・0.1キロ)	—	—
◇果実◇		
ミカン(静・10キロ)	—	4860
甘夏カン(熊・10キロ)	—	—
レモン(アメリカ・17キロ)	—	—
バナナ(フィリピン・13キロ)	—	3780

春日部市況（さいたま春日部市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	—	—
ニンジン(千・10キロ)	1620	1404
コマツナ(埼・0.2キロ)	108	—
キャベツ(千・10キロ)	1728	—
ホウレン草(埼・0.2キロ)	194	—
ネギ(群・5キロ)	2376	2160
ブロッコリー(愛知・6キロ)	1620	1404
キュウリ(埼・5キロ)	1944	—
ナス(高・5キロ)	2700	—
トマト(埼・4キロ)	1620	—
ピーマン(茨・0.15キロ)	119	—
パレイショ(北・10キロ)	—	—
タマネギ(北・20キロ)	5616	—
エノキタケ(長野・0.2キロ)	70	65
◇果実◇		
ミカン(徳・10キロ)	4104	3564
ハッサク(和・15キロ)	3931	3650
イチゴ(栃・0.26キロとちおとめ)	—	378
メロン(高・9キロアールス)	—	11880
リンゴ(青・10キロサンふじ)	5940	4860
キウイ(和・3.6キロ)	2484	—
レモン(アメリカ・17キロ)	—	—
オレンジ(アメリカ・17キロ)	—	—
バナナ(フィリピン・13キロ)	3240	—

川口市況（川口中央青果／巣市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(千・10キロ)	—	1728
カブ(千・0.8キロ)	—	151
ニンジン(千・10キロ)	1512	1404
ゴボウ(青・4キロ)	—	972
ハクサイ(愛知・15キロ)	1620	1404
コマツナ(埼・0.2キロ)	—	—
キャベツ(愛知・10キロ)	2052	1728
ホウレン草(各地・0.2キロ)	—	65
チンゲンサイ(各地・2キロ)	—	1404
ニラ(栃・0.1キロ)	—	97
ナス(高・0.3キロ)	—	216
トマト(栃・4キロ)	—	1620
キュウリ(福島・5キロ)	—	2268
レタス(静・8キロ)	—	2700
ピーマン(各地・0.13キロ)	—	129
パレイショ(北・10キロ)	—	3024
タマネギ(静・10キロ)	3240	—
カンショ(千・5キロ)	2160	1944
エノキタケ(各地・0.2キロ)	—	70
生シイタケ(各地・0.1キロ)	183	140
◇果実◇		
ミカン(静・10キロ)	5616	5076
伊予カン(愛媛・10キロ)	—	—
リンゴ(各地・10キロふじ)	5940	4320
バナナ(フィリピン・12キロ)	3996	2700

川越市況（東京新宿べ／川越調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	1404	—
ニンジン(各地・10キロ)	1404	1188
ハクサイ(茨・13キロ)	864	—
キャベツ(埼・10キロ)	—	1080
コマツナ(茨・0.3キロ)	103	92
ホウレン草(各地・0.3キロ)	130	108
ネギ(各地・5キロ)	2916	2538
ブロッコリー(香・5キロ)	1944	—
レタス(茨・8キロ)	3564	3078
チンゲンサイ(茨・0.2キロ)	108	—
キュウリ(各地・5キロ)	1836	1620
ナス(各地・5キロ)	2700	2484
トマト(各地・4キロ)	1620	1404
ピーマン(各地・0.15キロ)	119	108
パレイショ(北・10キロ)	3780	2862
サトイモ(埼・10キロ)	—	—
タマネギ(各地・10キロ)	5724	5616
生シイタケ(各地・0.1キロ)	184	—
◇果実◇		
イチゴ(埼・0.28キロ)	486	432
伊予カン(媛・10キロ)	3780	—
リンゴ(青・10キロふじ)	6480	4320
バナナ(フィリピン・13キロ)	3888	3132
キウイ(愛媛・3.6キロ)	2700	—
ネーブル(アメリカ・10キロ)	6048	—

秩父市況（秩父総合食品卸売市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン(神・10キロ)	1836	—
ニンジン(埼・10キロ)	—	—
ゴボウ(青・4キロ)	—	—
ハクサイ(茨・15キロ)	1080	—
キャベツ(愛知・10キロ)	—	—
ホウレン草(群・0.25キロ)	140	—
ネギ(形・5キロ)	—	—
ブロッコリー(埼・4キロ)	—	—
レタス(茨・10キロ)	—	—
キュウリ(宮崎・5キロ)	—	—
ナス(高・0.4キロ)	270	—
トマト(熊・4キロ)	—	—
ピーマン(茨・0.15キロ)	—	—
カンショ(茨・5キロ)	—	—
パレイショ(北・10キロ)	3456	—
タマネギ(北・20キロ)	—	—
生シイタケ(各地・0.1キロ)	130	—
エノキタケ(長野・0.2キロ)	—	—
◇果実◇		
甘夏カン(熊・10キロ)	—	—
ハッサク(和・10キロ)	—	—
リンゴ(青・10キロサンふじ)	4536	—
イチゴ(栃・0.3キロとちおとめ)	—	—
パナナ(フィリピン・13キロ)	—	—
パイナップル(フィリピン・12キロ)	—	—